

こんにちは、持田有紀子です。

前は、3次元ベータトレードの可能性について  
お話をしてきました。

今回は、実践動画をお届けしたいと思います。

では、実践動画の方をどうぞ。

こんにちは、持田有紀子です。

日頃は恵比寿とか広尾とかその辺りをウロウロ  
していることが多いですがそれにプラスちょっと  
代官山ということなんですけれども。

今日はコロナも収束したということで  
坂をおりて目黒の雅叙園までやってきました。

見ているとさっきから結婚式の写真を撮っている  
人がたくさんいて、幸せそうでいいわと思いながら  
ちょっとこっちまで顔がほころんでいるところです。

なかなかこのラウンジもとてもスペースな  
とても上が空いていてなかなか良い感じのところですよ。

どこでも自分の居心地の良いところのできる  
ところが良いかなと思います。

私は基本的にクラシック音楽が好きなので  
後ろで音楽が流れているのも良い感じかなと  
思っていますけれども。

ツールの使い方をご紹介します。

要はパソコンがあればどこでもできるという

ことなんですけれども

今日はわざわざ見やすい為にパソコンを持って  
きましたが基本的にはスマホでやられている方  
の方が多いと思います。

スマホで十分なのですがパソコンの方が画面も  
大きくて見やすいと思いますのでパソコンの  
画面で紹介していきたいと思います。

はい、これが3次元ベータトレードで使っている  
ツールになります。

こんなふうに画面ができあがっていて  
そこに3次元ベータトレードでトレードをする  
対象となっている6つの物がでていて  
それぞれにその日の入り所というのが  
表示されるようになっています。

売る場合はこっち、買う場合はこっち  
というふうに毎日値段が出ています。

ですからこの値段を見てあとは注文を入れて  
いくだけということになります。

そしてさらにこの下にはこの76つの  
チャートがあります。

基本的にはここに今赤い物と青い物があるかと  
思いますが赤いと今日は対象にはならないという  
物ですし、青い方についてはまだまだこれから  
入っても良いということになるわけです。

いつでも自分の好きな時に入れば良い  
という話をしましたが

自分が都合がついた時にこの画面を開いてみて  
その中で対象になる物、入れそうな物を見つけ

たら入るということになります。

開けたときにもう赤であればそれは対象外になりますから無理して入ることがないということになります。

青い物であればそこから入っていきましょうということになります。

とても簡単です。

もう色でも出ていますし何も考えないで入れれば良いかなと思います。

そしてやり方なのですが例えばこんなふうに数字を打ち込んでもいいんですけども

コピペすれば数字も間違えることもないので入れれば良いかと思います。

これはSBI証券の取引画面になります。

これはお使いのご自分の使いやすい証券会社の物を使えば良いと思いますが

この例としてはSBI証券の物を使っています。

先程出てきたツールに売りなら売りのエントリーの値段が出ていますのでその値段をそのまま入れるだけです。

そしてさらにこの売りのエントリーの目安だけでなく今度利食いはどこでやったら良いのか。

そして損切りはどこでやったら良いのかということも最初に一変に入れてしまいます。

そうすると今度は利食いは22,835円ですから

22,835円

そして自分がもし不幸にも損切らなきゃいけない  
といった時には23,100円だなというのが  
分かりますからそこに23,100円というふうに入れて

そしてここに自分の注文枚数を入れます。

この注文枚数はもちろんこれは別にはお伝えします  
けれどもその人によって1枚の人もいれば  
10枚の人もあるし20枚の人もいるでしょうし  
というふうに自分の状況に合わせて入れること  
になります。

今回は例ですので1枚でやっていきたいと思います。

そして有効期限は毎日のことなので当セッションのみ  
ということで今日1日で終わります。

当セッションにして、取引パスワードを入れて  
あとは注文をするというふうにしてクリックすれば  
良いということになります。

因みに今日はドル円のショートで朝私は入っている  
わけですけども

赤になっているのでここから入る人は  
もう入らないことになっているのですが

取り敢えず私の今の今日のポジション的には  
まだプラス状態というかそのようになっているわけ  
ですが

でもこれを見るのではなく入れた所  
利食いは利食いで決まっているので

基本的には1回入れたら見なくて良くて  
後は家宝は寝て待つ状態です

取引になりますので

本当にかかる時間というのは本当に  
大したことないです。

利食いがくればもう1回入れるということも  
しますし

後はまとめて上も下も入れるということも  
あるのですがどちらにしても時間的には  
先程の時間かける2くらいしかかからないので

時間はかからないということです。

ほとんどその後は何も見なくていいという  
家宝は寝て待て、時間はかからない  
そして場所も選ばない。

今日はPCをこんなふうに使っていますけれども  
別にPCもなくてスマホだけで十分にできると  
思います。

もちろん電話で取引をしたいという人については  
電話してこうやって入れてと言えば良いだけの  
話なのでますますもっと時間はかからないと  
思います。

どちらにしてもツールがあれば簡単にこのように  
時間もかからず取引できますし

その後どうなのかなと見ないまま1日が終わって  
そして結果が出ていてまた次の日にいってという  
こういうことを繰り返していくという  
ことになります。

いかがでしたでしょうか。

こんなふうにほとんど時間をかけずに日々やっているのがお分かりいただけたと思います。

そしてこの結果がここにあるような実績表となって結果として出ているわけです。

ツール通りにそしてルールに基づいてやった結果がこの実績表になります。

基本的にこの作業だけしか本当にしていません。

ですからかかる時間も1～2分です。

場合によっては何度か1～2分かける3回とか4回で1日15分くらいということもありますが基本的に最初に全部入れてしまえばこれで終わってしまうことも多いです。

淡々と続けていくことによって2か月続けてやって2倍になる時もありますしこのような感じです。

良いとき悪いとき当然ありますけれどもそんなにマイナスの酷いときというのが少ないです。

プラスになるときもマイナスになるときもあります。

しかしこうやって波はありますがとにかくマイナスになるときにもしくはあまりプラスにならないときでもどうやってしのいでいけるかということやはり重要なところではないかと思います。

この方法ですと何が良いかと言えばですがいろいろ良いことはとにかくいっぱいあります。

1つ言えるのはこの方法は例えばいろいろな投資手法がある中で少ない金額だったらこのくらいのパフォーマンスがでるけど大きい金額になるともうでないというような物も

結構あります。

ところがこの3次元ベータトレードの手法というのは全くそれも関係ありません。

金額も関係ないということです。

これは最初にもう20年ぐらいやっているというお話をしましたが、大体100億円くらいまででしたら同じ結果になるなというふうに思って作っていました。

はっきり言って今この世の中の大金融緩和の中でいくと更にお金が金融マーケットの中に溢れているので多分1000億円くらいまでであってもほとんど運用可能だなという感触があります。

そしてこういうふうに小さいお金でできていたものも大きいお金になるとできないということが多い中でこの小さくても大きくても同じように変わらずにできるというこういう手法がなかなかないです。

逆に言うとこれはとてもマーケットの本質についています。

結局マーケットにとっては、その人がお金を10万円しか持っていなくても1000億円持っていたとしても全くマーケットにとっては関係ないことです。

それが全くそのまま実現できるという意味では皆さん当然これをずっとやり続けていく中でお金が増えていけば当然投資していく金額も増えていくでしょうが同じようにずっと続けていくことができる。

要するに増えていっても困ることがないということです。

ですから皆さん大船に乗ったつもりでいてください。

そしてこの手法を公開する理由の中に傷ついて

満身創痍常態でやってくる人が多いです。

そういうふうになる前に正しい方法でやっていればということも多くてそして公開しているという私の大きな根拠にもなっているわけです。

そうしていろいろな失敗をしている人のパターンを見ていて分類分けをすると大体いくつかのパターンに分けられますので皆さんそれに自分が当てはまっていないかどうかということをちょっと考えながら今まで見てきた人の話を聞いていただければと思います。

失敗パターンその1ですけれども  
1つのチャートだけを見るです。

これはよくある話でそもそも提供する側も  
1つの物しか提供しません。

FXの会社がいきなりアマゾンの株を売りにきたり  
するということのないようにまず1つの物をやっています。

日本は基本的に物がすべて縦割りになっているので  
どうしても情報の流れ方もそんなふうになります。

ですから提供する方が縦割りなら当然やる方も  
縦割りですから、みんなそれに慣れきった常態に  
なっていますが実際のところ金融マーケット  
というのは根底の部分で全く繋がっているんです。

その繋がっているからこそ相関性を使っていく  
ということが需要になっていくわけです。

1つの相場だけを見ていても結局は勝てない  
ということが多いです。

この大元のところで起こっていること  
繋がっていること要は見えていないということです。

まさに木を見て森を見ずというような状況になってしまっています。

そうしないとある全体の森の部分根底にあるもの  
これが見えないとどんなに小さな木1本を  
頑張ってみてここにさっきはなかった皮がとれてる  
というそういう事があっても  
何の意味もなかったりするわけです。

それよりはその森全体で起きていることを  
知るもののほうが重要です。

ですがそうしないままにどんどん見つめれば  
見つめるほどその中にどんどん細かいところ  
だけが気になっていってということで  
そもそもその木が立っている森自体が全然  
変わっていたりとかということがあり得ます。

ですからこの1つのチャートだけを見る  
1つの物だけを見るというのが失敗に繋がる  
1つのパターンです。

そして失敗パターンその2ですけれども  
毎日、相場に張り付くです。

これは好きであればあるほど特に熱中している  
最中であればあるほど張り付きたくなるのも事実です。

特に自分がお金をかけてゲームとかやっている人が  
寝ないで頑張っちゃうとかというのがあるのと  
同じように、ギャンブルとかもそうですけど  
やっていることが行動としてほとんど変わらないです。

しかし張り付いて見ていたからといって  
マーケットが神風吹いて自分に都合良く  
動くわけでもないです。

全く関係ないです。

ということは張り付いて見ていること自体が時間の無駄です。

それだったらその時間を他のものに使ったほうがいいですし、張り付いても変わらないのだったら張り付かないほうがいいということです。

でも張り付いてしまう方がすごく多くてこういう人にあるのは張り付くというのはやはりギャンブルにはまるとかゲームにはまると同じように熱くなっているときはすごく頑張ってしまうということです。

そういう人に限って冷めることも早くてもうやらないというようなふうになってしまったり後はもうわかってはいるけど依存症で見えていないと気がきでならないみたいになってしまいます。

そうすると健康にもよくないですし相場で自分が儲るわけでもないですから全く無駄です。

ですからこれも失敗パターン2として心に刻んでおくべきことです。

そして失敗パターン3ですが、損切りができない。

ロスカットができない。

これも大きな失敗パターンの中でも結構問題が大きい失敗パターンです。

というのは損切りができないというのは結構都合良く自分が解釈しているところがあります。

損切りしなくてもいい人達があります。

人達がいますと言ってもほぼいません。

ですが、もしも自分が大量にお金が投入できて  
次から次へとお金が投入できるのであれば  
損切りしなくても取り敢えず持ちこたえる  
ことはできます。

要は戦争で例えるなら物量作戦に訴えれば  
少なくとも物がなければ1日で終わる戦争でも  
物量作戦があれば1年くらい頑張れば戦争ができる  
ことがあり得ます。

でも考えてみてください。

1年かけてもし戦争するのと1日の戦争だったら  
どちらが最終的に被害が大きいかです。

この物量作戦をやった挙げ句に勝てればいいです  
けれども勝てる保証がない場合というのがほとんどです。

はっきり言って保証なんてありません。

マーケットにおいて明日の保証はどこにもないです。

ということを見ると損切りをせずに  
都合良く考えてそして何とかいつか神風が吹く  
大復活があるかも知れないということを  
期待するというのは完全に間違いです。

確かに目先に損切りするというのは痛いです。

それは辛いです。

だけどそれをできないと本当に儲かるときに儲らない。

頑張っているにも関わらず儲けが薄いかかそういう  
ことになりかねません。

ですからこの損切りが出来ないというのは  
失敗する中でもかなりまずい失敗の仕方なので  
これも失敗パターンとして覚えておきましょう。

物量のない人にとっては単に損して終わる  
ということにもなりかねないわけです。

そうすると二度と立ち上がれない人にもなって  
しまいますから甚大な被害が出ない為にも  
この損切りをするというその知恵を上手く使って  
いくというのがすごく重要になります。

そして失敗パターン4ですがこれもよくあります。

コツコツ勝つけどドカンとやられるという。

こういう人は真面目な人が多いです。

日々チャートに張り付いていて一生懸命真面目に  
ちょっとした利益がのってもプラスになって  
それでも一勝は一勝です。

ということでちょっとずつ勝っていきます。

ところがそういう人に限ってなぜか勝ちが続いたり  
すると次は大丈夫じゃないかと思って  
いざと言うときにドカンとやられがきた時に  
はねのける思考力が働けないままドカンとやられて  
終わってしまうと言うことが多いです。

先程の物量作戦に続きますがドカンとやられても  
また回復するからいいというふうに思いがちです。

そもそもこれはギャンブルでもそうですし  
ギャンブルの上手い人というのは  
賭け事の上手い人もみんな同じだといいます。

ちなみに私はギャンブルとかはやらないので  
わからないのですがギャンブルをやっている人と  
話しててなるほど同じだなと思ったところが唯一  
ここで、ギャンブルでも儲り続けているというのは  
このコツコツ勝ってドカンとやられるということが  
ない人です。

逆にいかに負けるときを小さくして  
儲けるときを大きくするかということを  
考えている人これが生き残っています。

というかそれで生活している人は同じです。

トレードでも全くそうです。

コツコツ、ドカンでもなくてとにかくいかに  
やられを少なくして、やられるときのやられを  
少なくして儲けられるときに儲けるか  
もうこれが全てです。

ですからコツコツ負けて大きく儲けるときは儲ける  
という要は逆ことをやらなければいけなくて  
だからこそ資産が残っていくということにも  
なるわけです。

失敗パターン5ですけれども  
裁量トレードする人です。

これは裁量トレード自体が悪いわけでは  
全くないです。

できればその裁量で自分が考察してそして  
シナリオを立ててそれで結果がついてくる  
要は大きくプラスになるという  
それほど相場における醍醐味はないです。

私もこの裁量というのは本来こうあるべきである。

トレーダーたるものこうあるべきであるとも考えるくらいです。

でも本当に裁量トレードだけで生き残れる人それだけでやっていける人というのはかなり生まれつきの才能がある人そしてもっと言うと才能と言いましたが本来そこに至るまでにはすごく修行が必要です。

すごく膨大な知識も必要です。

その裏打ちされた上で裁量をするだから上手くいきます。

どんな人でもパチンコでもそうですが最初からよくビギナーズラックって聞きますが競馬とかでもそうです。

マーケットも同じで1回くらいは自分が相場に入ったときに上手くいくということが結構あります。

そうなるとすごく自分は天才かとも思い裁量でずっとやっていけるんじゃないかとも大概の人は勘違いします。

そしてそれを続けていくうちにとんでもないことになっていくということがよくあるパターンです。

だから裁量トレードをする人が失敗パターンですというふうに言っています。

本当を言いますと3次元ベータトレードのようにもっとそれをさらにそれも含んで超えたところでできているものこのベースを持った上で最終的に裁量ができる人になればもうそれは鉄壁な状態です。

そこに至るの逆です。

裁量が先なのではなくて最初のその足元のベースを  
どうやって作るのかここが1番重要です。

そしてその一部の人しかいないというその裁量の  
上手くいっている人というのも適当で当てずっぽに  
やってそうになっている。

要は神がかり的に神様からお告げがあって  
やっているのではなくそうしたその熱いベースが  
あって初めてそれが常に成功できる最良トレーダー  
です。

ところがそれがその格好だけまねしても  
まず上手くいくことはないです。

それになるのだったら格好をマネするよりも  
まずそこに至る前のベースをしっかりつくる  
そっちのほうが重要です。

要は順序が逆ということです。

ですからトレードをこれから始めようと  
する人はその天才のまねをして自分が何か  
追っていくことを考えるよりも  
そこに至る以前の問題としてどういうベースを作るか  
お城を作るときもそうですけど基礎が1番大切です。

どんな建物でも基礎工事がちゃんとできてない物は  
すぐ台風とかで倒れてきたりします。

それと同じです。

ですからその守る姿勢ということが1番重要で  
その為にはこの3次元ベータトレードのベースを作る  
という意味でもすごく重要です。

役に立ちます。

私もそれによって昔よりもより自分が最良で  
トレードをするときにも役に立っています。

なのですごく格好ではなくてまずベースを作る  
これを考えましょう。

そして絶対やってはいけない失敗パターンの6  
ですが、これが1つの自動売買に頼る人です。

自動売買もこれは悪いわけではないです。

もちろん作ったときにはあるロジックがあって  
そしてそれをシステム化した物なわけです。

もちろんこれはある程度いけると思うから  
当然システムにして物として売り出してという  
ことになるわけです。

でもそれをのってやる人はどうなのかという  
話になったときにまずなぜダメなのかと言うと  
自分が考えたものじゃないというのがその1です。

自分が考えた結果そこに行き着いた物ではなくて  
今当っている今儲っているということほど  
当てにならない物はありません。

逆にそれがその先にもずっと再現できるのか  
どうかとうことのほうが重要でその為には  
まず自分がやっているシステムトレードの中身を  
自分が分かっているのかどうかってことです。

さらに言うと乗り換えていくわけです。

今儲っている物に乗り換える乗り換えるという  
ふうにしてやっていけばいいだけの話なのですが  
じゃあ乗り換えていくことは結局当っている物を  
探していくということと変わらないわけです。

当たっている物当たっている物を儲けていくという  
のは逆に言えばそんなことないですから  
ずっとそれでいい思いができるということ  
はないです。

ということは当たっている物を探す上手くいき  
そうな物を探すという結局その元のところが  
分からないでということです。

それって本当にチルチルミチルの青い鳥を  
求めてさまよい歩く人みたいになりかねないです。

なのでこういうふうにならぬように1つの自動売買に  
頼ってしまうという人は良くないです。

しかも自分がとっているリスクというものが  
そもそもどこにあるのかこれを常にわかって  
トレードをする必要があるんですが意外と  
システムトレードに頼る人というのは  
分かってないことが多いです。

少なくとも私が見ている限り1つのシステム  
トレードにずっと儲け続けるという人は  
私は見たことがないです。

知っていれば教えて欲しいですがその儲け  
続けると20年も30年もという意味で言って  
います。

そしてトレードに勝つ為に最も重要なこと  
これをまとめると正しい手法であるということ。

それからそれを実際に本当に使い続けられること  
実際に行動にすることもうこれに尽きます。

環境も結局その手を掛けてすぐくめんどくさい  
環境でずっとやり続けるのだったらやっぱりこれも

続きません。

ですからそのいかに手をかけないで  
やり続けられるか、その為にはあまり  
複雑すぎてもダメなんです。

何も考えなくても盲目に頼りすぎるのも  
良くないです。

結局そう考えると正しいその取り組み方で  
どこまでできるかです。

正しい取り組み方さえできていれば  
必ず結果はついてきます。

これはもう間違いないことです。

この3次元ベータトレードを今まで見てきていただいた  
ようにどんな相場するときどんなショックがきても  
大きな波が訪れるときもあればもう全然波が起こらない  
要するに何のショックもなくしてショックなすぎで  
脳死状態のマーケットのときもあります。

そういう嵐のときもあれば大嵐のときも  
マーケットにはいろんなときがその時々あります  
けれども結局そういう物も乗り越えて淡々と  
それが1か月2か月1年2年3年5年10年というふうに  
要するにやり続けられるかです。

でもそれをやり続けて且つその資金が残っていく  
というこれが重要なことです。

これが結局トレードに勝つ為の極意というか  
もうこれであってこれ以上でもこれ以下でもないという  
ザこれという感じです。

ザ3次元ベータトレードという感じです。

そしてその結果どのくらい稼げるかなのですが  
やはり月30%とか、トントンだというときもあれば  
やはり100%になっちゃったということも  
ありますしとにかく1000億円くらいまで  
運用資産があってもかわらないよというふうに  
言いましたけれども

稼ぐ額についてもこれは別にここで打ち止め  
ということではないです。

なので青天井です。

稼ぐだけ稼げばいいし続ければ続けるだけいい  
ということになります。

あまりどのくらいかと言われるとそんな感じだ  
としか言いようがないです。

あまりだからとにかくその大きな波小さな波に  
関係ないと言いましたけど関係なくてそして  
コツコツやって淡々とやってそして気が付いたら  
自分はこのくらい増えていたという  
それだけの話です。

もちろんお金を絶対額からすれば50万円の人と  
5000千万円の人では利率で考えれば  
同じ10%でも額は変わってきます。

だけど自分が小さいお金で始めたとしても  
それだけお金がちょっとずつでも増えていけば  
気が付いたらこういうところまで来てたという  
そういうことです。

ですから重要なことは大きく増やしたいという人は  
日々のコツコツとした時間はかからないけれども  
コツコツとした努力さえ続ければ誰でもできるという  
そういうことです。

この投資を身につけると何が変わるのかですが  
今まで話してきた通りです。

まず金融マーケットが自分の味方になります。

金融マーケットと言われるととにかく自分の味方にな  
ってなくて世の中損した話のほうが面白いという  
のもあってみんなここまで損しましたとか  
おじさんがそれで潰しましたみたいな話とか  
そういうのもあるかも知れません。

すごい儲りましたとかっていう話はあまり聞こえて  
こないです。

ただ現実の話として思うのはマーケットは  
どこまでいってもゼロサムなところがあるんです。

だからそれだけ損した人がいっぱいいるということは  
逆にそれだけお金をいただいた人がいるというそういう  
場所でもあるんです。

それを自分にとって要は金融マーケットを貰える人として  
機能させるのか単にボランティアとか貢ぐ人として  
機能させるのかで大きく人生変わってきます。

ですから何が変わるかと言えばとにかく金融マーケットが  
自分の味方の方向なお金をこう恩恵を与えてくれる物に  
変わってくという意味で変わっていきます。

そしてとにかくこの方法というのは中に入っている物は  
いろんなことを踏まえて入っているんですが実際のその  
トレードという意味では全くイベントだったり  
ニュースだったりという物を気にしなくていいんです。

なのでとにかく張り付いての時間がなくなるそれから  
これ見なきゃやあれ見なきゃというような気にする物が  
少なくていいもうすぐく時間的にまず楽です。

気になることがあると他のことをやっても  
気になっちゃったりします。

それがなくなるという意味でもすごく晴れ晴れすっきり  
という感じです。

ですから人によってはなんでこれでというような  
不思議な気分になってくる人もいらっしゃるけれども  
実際そうなので私もすごくこれで私自身もすごく  
楽になったところもありますし不思議なんです  
なぜか結果がついてくるついてきてしまうという  
そういう効果があります。

この3次元ベータトレードで使っているツールですが  
因みにですが今回は改訂もされています。

ずっと皆さんに提供していく中でなるべく使いやすいように  
改訂もしてますのでそうした改訂された新ツールになります。

3次元ベータトレードではエントリー決済ポイントの他に  
相関性を見る機能なんかもあります。

6つのこの市場を同時に見れるウォッチできるというのは  
意外とありそうでないんです。

なんでなのかなという結局縦割りだということと同じように  
できないんです。

例えばそれをブローカーが提供しようとする  
現実問題できないんです。

なのでそういう縦割りをこうぶっ壊した状態でできている  
のがこの3次元ベータツールですごく実は作りはシンプル  
なんですけれども見ればマーケットで今何が起きているの  
かなと結構すぐわかります。

一目でわかるようになります。

逆に言うとそんな物があっても商売としては困るんですが我々は別に困らないというかこれを使ってトレードをしていくのでこれを使っています。

このツールの出てくる数字を使えばいいというふうに言いましたが当然この数字には根拠はあります。

ただトレードをしていくという中でこの根拠は全然知る必要もないですし知らなくてもできるようになっています。

出てきた通りに数字を入れて利益が残っているというだけのことです。

結構本当に1～2分の作業だけで終わりますからすごく簡単です。

この数字自体3次元ベータツールで参加者には公開をしています。

3次元ベータトレードをマスターすると何が良いかです。

とにかく暴騰も暴落もいろいろな様々なショックであったりとにかく社会が変わって云々とか様々なことに怯える必要が全くなくなります。

もう淡々と日々を過ごしていけるようになるという心穏やかにということです。

よく投資の中で1番メインでやるといったときには株式投資だと思います。

このコロナショック以降、新たな株式投資層というのがすごく世界的にも増えていて時間が家にこもって時間があるからということもすごく関係していると思いますがゲーム感覚ですごくみんな参加しているようです。

ですがこの株式投資というのは本来ゲーム感覚で

売ったり買ったりとしてやるような物でもないんです。

金融商品というのは本来その金融商品が持っているその  
ネイチャーをいかに掴んでそれを利用するかがすごく重要  
なんですけれども

そういう意味ではゲーム感覚で売ったり買ったりしていく物  
というのが本来の株式の姿ではないんです。

且つこの株式投資は本来の姿としてどうやらなければいけ  
ないかというところを分析をした上でそしてこれは  
買いなのか売りなのか買うだけだったら簡単なんです  
どこで売ればいいのかというその次の問題もあつたり  
すごく投資の仕方というのは実は難しいです。

そして専門家と言われる人達でさえも  
その時々状況にあわせて特に今評論家的な人が  
特にそうなんですけれども次々とその理論を打ち立て  
てはそれで正当化していくというような側面もあつて  
なかなか本当のところと言うのが掴みにくい物でもあります。

それに比べてそこを管理していくというのがすごく  
大変でさっきも言ったようにいつ買えば良いのか  
買うのは簡単なんですけどいつ売れば良いのかも  
そうですしやり始めると何銘柄も買ってすごく  
AもBもCもDもEもですがという感じになっていって  
という感じになるんですが

そうすると管理するのがものすごく大変になります。

もう30銘柄40銘柄かかえてもうそれを管理する  
だけでも大変自分は何かも重要な管理人みたいな  
投資しているんだか管理が先になっているんだか  
それが趣味になっているんだかわからないみたいな  
形になってしまいます。

そういうのがこの3次元ベータトレード  
相関性を利用してトレードすることによって

解放されます。

すごい楽になります。

こんな無駄なことしてたんだなっていう  
何か今までの時間、無駄に過ごして来てしまった  
みたいなそういう感覚が得られるのではないかと  
思います。

何かゲームに多大に時間を使ってその時は楽しいけど  
後になってみると何か時間を無駄にしたみたいな  
何か寝不足で疲れちゃったみたいなことあると  
思います。

まさにその感覚をこの3次元ベータトレードを  
通すことによって他の投資のやっているところの  
あほらしさというのが自分の時間無駄だったと  
目覚める時がくるのではないかと思います。

稼ぐという視点だけで考えれば  
もう楽に稼ぐ方がいいわけです。

この楽というのは生産性の話とも関わって  
くるんですが時間に対して自分がかけた時間  
そして労力に対してどれだけの結果がつくか  
というここもすごく重要なことです。

これがないとそのある意味投資の罠というか  
金融マーケットの罠というかそういうところ  
深みに入ってしまうので  
その視点もすごく持つことが重要なんです。

3次元ベータトレードというのは  
当然その視点も加味していますから  
そういう無駄なことをさせないという  
そういうトレードです。

そして最大の特徴はこれが機会的ですと言っています。

ツール通りというふうにも言っています。

つまりは私がやってもあなたがやっても同じという  
もうこの誰がやっても同じという状況に持って  
いっているこれが3次元ベータトレードの  
最大の強みでもあり誰がやってもできる。

要は全てに人に開かれている。

そういう手法でもあります。

次回の予告になりますがこのロジックの肝となる  
6つの市場の相関性これをついに公開いたします。

今回もコメント特典があります。

コメントいただいた方にはトレード成功の10の秘訣を  
お送りします。

ドシドシコメント書いてください。

お待ちしております。

そしてよくまた迷惑メールに入ってしまった方が  
いらっしゃるようです。

届かないと言って迷惑メールフォルダに入っているという  
お声を聞きますので必ずこないなと思ったときには  
迷惑メールフォルダを見ていただきたいですし  
そこに入らないようにチェックをしていただければと  
思います。

そしてラインの登録をお願いします。

ライン@です。

ご登録された方には今後もメールやそしてこの動画の

中では言えないような情報も公開していきます。

是非ご登録ください。

最新のトレードの実績などもお送りしております。

今回も動画をご覧いただきましてどうもありがとうございました。  
ございました。

また次回をお楽しみに。